

輝石

～追～

洗足学園高等学校 高校2年 学年通信 2020.05.25 発行
(活動メモより特別号⑤)

本日より休校中の学習定着度を確認する「定着度確認テスト週間」です。ご家庭におかれましては、生徒たちの学習環境整備に、一層ご協力いただくことになるかと思います。どうぞよろしくお願い致します。

休校中の活動メモ特別号⑤をお届けします。特別号が最終号になる日を楽しみに、一方で、生徒たちの素直で、優しく、ときには本物の「知性」に驚かされる文章を読む機会が減ってしまうことの淋しさも感じています。始めた当初は想像もしなかったことです。

5月16日(土) 『あなたにとっての衣服とは』 K先生からの問い

高2A S.A

衣服を着ることはたくさんの人にメッセージを伝えることができることだと思います。一枚のTシャツにかかっている言葉やプリントされているマーク・写真だけで多くの人に影響を与えることができます。身近な例としては有名なアーティストのTシャツやインパクトのある言葉がプリントされたTシャツなどです。私のクローゼットの多くの衣服はグラフィックTシャツがほとんどです。親も私も環境に悪いブランドには貢献したくないため、なるべく社会に貢献しているブランドの衣服を買うようにしています。

X-girl というブランドは“girl's movement”をコンセプトとし、女性のエンパワメントをサポートしています。Ivory ella では大きな象のイラストを背中部分にプリントすることで動物に対してクルエルティフリーだということを伝えることができます。このように衣服は何も言わなくても、自分の周りの人たちを啓発できる力があると思います。

高2C M.R

私にとって服は状況に応じて私の体の見た目を変えてくれるものだと思う。例として、私が着ているものが普段着か学校に着ていく制服かをみて、隣人の人は私が行こうとする目的地を言わなくても学校行くか行かないかわかるだろう。学校へ行くための制服があったり、結婚式では白のドレスをきたり日本ではイベントごとに着る服として習慣づいている。なぜなのか、葬式のときに着る喪服の歴史を調べて考えてみる。

「日本書紀」や「隋書」などの記述を見ると、昔の葬儀では、亡くなった人の親族も参列者も白い喪服を着用するのが通例だったことがわかっている。古来、東アジアでは儒教思想から白を清浄・清純な色の象徴として人生の節目に用いられてきた。しかし、第二次大戦後、葬儀の数が増加しピークに達したために、連日のように葬儀があったため汚れやすい白い喪服は厄介なものとして扱われるようになった。そこで大手の喪服専門貸衣装屋が、汚れが目立たない黒の喪服に全ての衣装を統一してしまうという、思い切った手段を提案したのだった。私達の体自身は状況に応じて変化できない分、服で新生や再生の象徴を示すという習慣が今の時代にも続いている事がわかる。

服は他者の視線を必要とし、自分の内面や体の表面を隠す代わりにメッセージや意味を表すことができるものだ。

高2E H.R

私は服はその人の価値観を示すものだと思う。私は服は第一印象に大きな影響を与えていると思う。どのような場でどのような服を着るのか、この場ではありえないんじゃない？とかあの人の服お洒落！みたいな印象はその人のイメージを作り出している。その服をこの場で着ていいのか、着ない方がいいのかはその人の価値観によって決まる。クラシック音楽のコンサートではこの価値観の差がよくわかる。高齢な方はスーツや身だしなみが整っている人が多い。それに対して若い人は私服が多い傾向がある。これはコンサートという「場」が年代によって異なる受け取り方をされるからだ。かつて昔はクラシック音楽は海外、特に西洋の文化であった。西洋では身だしなみが厳しく、コンサートも例外ではない。ドレスコードが未だにあるほどだ。輸入した文化ということで当時はコンサート会場は非日常な場であり、どこか贅沢なものだった。だから服装が整っているのである。それが今ではコンサートというものが身近な場所となったため、私服でもぶらっと来れるようになった。私はこの「音楽」に対する価値観の変化の歴史によって年代によって服装が変わるのは興味深いと思う。

5月18日（月）『あなたにとって「カッコいい人」とはどんな人？』 先生からの問い

高2B Y.S

わたしにとって、『カッコいい人』とは気持ちのいい挨拶ができる人だ。

町中ではなかなか行わないが、学校内や会社内で人とすれ違ったときに気持ちよく挨拶ができる人はカッコいいと思う。運動不足解消のために近くの公園までランニングをしていたとき、幼馴染を含め数人でランニングをしている人たちに会った。幼馴染以外の人たちとは初対面だったにも関わらず、「こんにちは！」と気持ちよく挨拶をしてくれたため、自分もいい気分になった。

振り返ってみると、小学校の頃は挨拶をするのは当たり前じゃないかと思っていたし、今でも挨拶はしっかりするべきだと思っていることに変わりはない。しかし中学に上がってから、特に理由のない恥じらいで挨拶をする機会が減ってしまったように感じる。部活の顧問の先生や先輩には挨拶をしているにも関わらず、担任の先生をはじめとしたお世話になっている先生に挨拶をしないのは考えてみるとおかしいことだと思う。挨拶をしなさい、と規則で決めてさせることは簡単だが心からの挨拶ができるべきだと思う。

ときどき親に「ほら、挨拶は？」などと言われている中高生を見かけるが、恥ずかしがっているその姿が恥ずかしいと思ってしまう。「みんなしてないから私もしない」ではなく、意識しなくとも自然に挨拶ができる人になりたい。

高2D S.S

こんな状況になっても、どうすれば少しでも楽しい高校2年生の生活が送れるか考え、形や時期が変わってしまっても行事を行おうと諦めずに計画している文化祭や体育祭実行委員の同級生がかっこいいと思った。周りが「もう今年はだめだ」「私たちのセブンティーンの青春は終わった」と少し憂鬱な気持ちになっていて、自分も体育祭や文化祭もなくなってしまうのだろうかというブルーな雰囲気にならされてしまっていたが、実行委員の子たちが諦めていないことを知り驚いたと同時に、予想外のことが起きても自分が一度やると決めたことを貫いている所が尊敬できると思った。

高2E N.S

私にとってカッコいい人は「自分の地位に関わらず誰かに手を差し伸べることのできる人」だ。現代の社会では学歴や地位で人をランク付けし、自分より下のランクの人をバカにしたり蔑む人が多いように感じる。確かに良い学歴や社会的地位を手に入れるためには人より多くの努力が必要でありたどり着けるのは一握りの人間なのでそれは素晴らしいことだと思う。しかし、高い地位があれば低い地位もあり、同じ量の努力をしても生まれた環境や家によって制限されることもある。多くの人は自分が生きていくために仕事をし、お金を得てそれを自分や家族の幸福のために使うだろう。大抵の人はそれが精一杯で、自分より地位の低い人に援助できる、手を差し伸べることのできる人はとても少ない、なぜなら例え援助しても自分に見返りがないからだ。それでも自分の身を削り、誰か知らない他人のために行動できる人は本当に素晴らしい人だと思う。しかし、そんな人間は世界中探してもごくわずかだろう。その一人である有名なノーベル平和賞受賞者「アルベルト・シュバイツァー」は貴族の家に生まれながら、医師としてアフリカでの医療活動に尽力した人物だ。貴族の家に生まれたら遊んで暮らすこともできたであろうに、貧しい人のために身を削ることができるのは本当に心の優しい人間だけだ。私は彼ほど心の優しい人間ではないし経済力があるわけではないが、大人になったら自分の利益だけでなく周りを見て行動できる人になりたい。

「ひとり〇〇」という表現には、「ひとりではなく、集団で行うことが普通である」という認識が暗黙の了解として存在しています。しかし「ひとりで行うことの魅力」が存在するからこそ、「ひとりカラオケ」などが注目を集めているのでしょう。

「ひとり旅」「ひとり映画」「ひとりカラオケ」「ひとり焼肉」以外に1つ例を挙げた上で（自分で新しいものを創造しても構いません）、「ひとりで行動すること」と「集団で行動すること」について自由に述べてください

(ひとりトランプ:「プレートテクトニクス トランプ」⇒)



高2A S.S

私が思いついた「ひとり」が付く言葉は「ひとりあそび」です。中学の家庭科で子供の成長について勉強したときに、テスト前に遊びの種類がなかなか覚えられず、その中のキーワードの一つだったため印象に残っている言葉です。一人遊びとは、小さい子が成長して自立していくことを覚えるための遊び方のひとつです。本当に小さいときは子供は親と一緒に遊ぶことが多いですが、しばらくするとひとりで積み木や人形でのごっこ遊びをするようになります。これは、子供の集中力を高めるために重要だったり、周りの人に頼らずに自立して行動できるようになるきっかけであるそうです。もちろん、ずっと一人遊びしかしていないと周りとの協力する方法や、協調性を高めることができませんが、実際にそのような集団での遊びができるようになるのは5歳ほどになってからで、それより幼いうちは一人遊びをじっくりすることが重要です。このように、子供の成長には「ひとり」で遊ぶことと「集団」で遊ぶことの両方が必要です。これは、子供に限らず大人でも、ひとりでの行動と集団での行動のバランスをうまくとる必要があると思います。いつも集団で行動していると、ひとりで行動する必要があるシチュエーションがあるときに自分で判断して行動する力が足りなかったり、逆に一人で行動しすぎていると大勢でのグループワークなどで上手な接し方に困ったりする可能性があるからです。協調性と自立性の両方を身に付け、うまくそれらの力を利用できる人ほど立派だと思います。

高2C W.K

私は休校期間ひとり会議にハマっている。名前の通り1人で会議をするのだが普段生活していると思うことでも、ニュースになるようなことでも様々な意見を自分で口に出しながら結論や考えをまとめていくことだ。ただ考えるのではなく初めに浮かんだ意見とは反対の意見を口に出したり、その意見を否定することでただ無言で考えるよりも良い結果を生むことが多い。あとは悩んでしまった時に考え込むのではなくさまざまな考えを口に出すことでポジティブな気持ちにもなれる。人と会話することを自分で何役にもなって話しているような感じだ。休校期間オンラインでしか人と話せない分こういうのもありかなと思う。

高2E S.A

テレビでボール遊びをしながらアイスを作るというおもちゃを見たことがあります。ボールの中に牛乳や砂糖などをいれたアイスの元になる液、氷、塩を入れて遊ぶと振られてアイスが出来上がるというものです。

このおもちゃでなくとも、アイスづくりには塩が欠かせません。氷だけではアイスは完成しないからです。なぜ氷に塩を入れると固まるのかというと、凝固点降下が起こるからです。固体の氷が液体の水にかわるときには、まわりから熱を奪い、まわりの温度を下げています。そのために塩をいれると氷を使ってものを冷やすことができます。氷が融けてできた水に塩が溶けていきますが、この時にもまわりから熱を奪います。この2つが一緒になって、まわりの温度が0℃以下にまで下がります。

このように見ると科学は身近なところで使われているのだと思いました。日常でももっと使われていると思うので、見つけてみたいと思います。

高2F F.A

肉には主にミオシン・アクチン・コラーゲンという3種類のタンパク質が含まれており、それぞれ変化する温度の差がある。ミオシンというタンパク質は50℃以上で変成し、肉に弾力が出て咀嚼しやすくなり、また、食べると旨味を感じるようになる。アクチンというタンパク質は、66℃以上で変成し、アクチンが変成すると肉の水分が抜けて、色が変わり硬くパサパサになってしまう。コラーゲンは68℃以上で変成（ゼラチン化）するが、60度以上からゆっくり変成を始める。コラーゲンが変成すると、肉が柔らかくトロトロになる。この性質の差を利用したものが、ローストビーフの低温調理法だ。ローストビーフは肉にきちんと火が通った上で赤みを残すことで、全体のバランスが作られる。そしてその状態を保ちながら美味しさを実現させるには60度～66度を保ったまま長時間調理すれば良い。だが、普通のオーブンでは60度という低温を保つことは難しい。そこで低温調理機を使った低温調理法をすることで肉の特性を生かした調理が可能となる。

5月21日(木)

『巨人たちの肩』

H先生からの問い

『If I have seen further it is by standing on the shoulders of giants』 Newton

(わたしが遠くを見ることができたのは、巨人たちの肩に乗っていたからです)

高2D Y.E

ニュートンが友人に当てた手紙の一文『If I have seen further it is by standing on the shoulders of giants.』(私が遠くを見ることができたのは、巨人たちの肩に乗っていたからです)について、この「巨人たちの肩に乗っていた」がどのような意味を成すのかを考える。まず、この「巨人たち」は何を示すのだろうか。ニュートンは万有引力の法則で有名だが、この法則はケプラーの法則がもとになっており、それだけでなくガリレオの考え方もあって彼はこの発見にたどり着いている。つまり「巨人たち」は、ニュートンの発見より前に発見された事柄の数々を示していると考えられるのではないか。そしてその「巨人たち」の上に積み重なって新しい発見をした、すなわち比喩的に、ニュートンは「巨人たちの肩に乗っていた」と表現出来るだろう。したがって、「巨人たちの肩に乗っていた」という言葉は、それまでの発見がニュートンの発見の土台として存在してくれていたということだと考えられる。ニュートンの発見も今に至るまで、そしてこの先も「巨人」として新たな発見のもととなっていくだろう。

5月22日(金)

『石ころと宇宙』

N先生からの問い

1954年のイタリア映画フェデリコ・フェリーニ監督の「道」の中で、薄幸の女性、ジェルソミーナが「自分の人生など、何の意味もない」と嘆く場面があるが、それに対して、道化師の仲間が、路傍の石を拾い上げ、こう語りかける。「もし、この石ころに意味がないのであれば、この宇宙にも意味はないんだ」

道化師が彼女に言わんとしたことは何か。

高2A T.M

道化師は、誰でも存在していることに価値があり、存在している間は誰かに影響を与えている。と伝えなかったのだと思う。

自分の人生に意味がないのであれば、影響を与えた人はどうになってしまうのか。お互いが影響しあっているからこそこの世界は存在しているため、この宇宙は存在していないことになってしまう。

石ころであってもこの世界に存在することで、誰かに影響を与え、存在している価値がある。だからこそ、人生に意味がないことはない。

高2D I.T

今現在存在するものや生物は、その全てが宇宙の産物だ。その数は無数で、その辺に落ちている石ころはその大量の産物の一つに過ぎない。しかし、そんな小さな石ころでも、生まれたからにはそれまでのちゃんとした過程があり意味があるはずだ。事実、石を使って生き延びている生き物もいるし、人類の発展の過程にも石というのは何度も登場した。石ころのみでは一見意味がないように見えても、その石ころさえもなかったら、今の生活はなかったと思う。その存在自体に意味がある。

人間も同じ。確かに、この地球上に人間なんて何十億人というし、自分はその何十億分の一でしか無いから、自分の人生に意味なんて無いと思うかもしれない。でも、今そう思っていたとしても、その人が生きてきた過程で大勢の人と関わってきているだろうし、その人に出会ったことで助けられた人、幸せな気持ちになった人が、自分が気がついていなかったとしても必ずいるはずだ。その人が生まれてきたときに少なくとも両親は幸せな気持ちになったはずだ。そんな風に、すべてのものはこの世に存在するだけで意味がある、そういうことを言いたいのではないかと私は思う。



高2F T.S

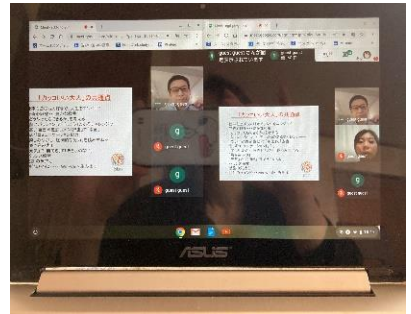
薄幸の女性がなにを体験したのかわからないけれど、道化師は「もし、この石ころに意味がないのであれば、この宇宙にも意味はないんだ」という言葉は彼女を励ましたいという気持ちから出たものだと思う。

ヨーロッパでは障害者などが道化師としてノブレスオブリージュによって貴族に雇われることが多かったという。当時道化師の立場はある意味ペットより低く、故に主人に対しての核心を突くような失礼な発言も許されていた。また、建前を論じる事しか許されていなかった主人の本音を言う事もあったという。この事を踏まえると、道化師は他の人以上に華やかな社会だけで無く人や社会の闇を体験し、見てきた人ということになり、人の何倍も沢山の事を体験した人ということになる。道化師の発言の意味はこの世の全てに意味があり、あなたが体験してきた辛いことも必ずいつか意味があった事だと思える時が来るから、人生を諦めずに生きて欲しいという意味だと思う。

5月23日（土）2、3時間目に、今年度初めての総合学習を実施しました。このような環境のなか、オンラインでおこなえたこと、ご家庭のご理解、ご協力に感謝申し上げます。

「幸せの因数分解を手がかりに」「自分の限界を自分で決めない」「何の職業に就こうかではなく、どういう人間になりたいかを考える」など、生徒たちは、たくさんの刺激と勇気をもたらえたようです。

詳細は後日発行の学年通信、保護者会で報告いたします。



オンライン保護者会について

先日ご案内させていただきました第1回高校2年生保護者会を、今週28日（木）、14時から15時30分の予定で実施いたします。当日は、Google Meet 会議室を使用します。以下、注意事項となりますので、ご確認ください。

◎当日の Meet コード：文系生徒の保護者の方：0528SENZOKUBUN
理系生徒の保護者の方：0528SENZOKURI

＊洗足保護者アカウント ed.jp で Meet に入り、上記のコードを入力してください（生徒は詳しいです）。

◎総合学習時と同様、普段の授業のオンデマンドより、通信量を必要とします。ご了承ください。またカメラ、マイクを OFF にして、ご視聴ください。

◎スライドを提示しながら説明いたします。スマートフォンはなるべく避け、パソコンでの視聴をお願いします。当日定着度確認テストは午前中で終了しますので、Chromebook のご利用も可能です。当日高2保護者用 HP に資料をアップします。

オンライン上にはなりますが、保護者の皆様にお会いできることを楽しみにしています。